

# 『夢梅華館日記』 翻刻（第二十八～二十九卷）

陳 捷

## 【解題】

本稿は本誌第 32 号～ 34 号に掲載されている「『夢梅華館日記』 翻刻（第十九～二十二卷）」、「『夢梅華館日記』 翻刻（第二十三～二十五卷）」、「『夢梅華館日記』 翻刻（第二十六～二十七卷）」に続き、中国の文人孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』（上海図書館歴史文献センター所蔵）第二十八～二十九巻を翻刻したものである。時期としては、光緒十五年四月二十三日（西暦 1889、日本明治 22 年 5 月 22 日）から光緒十五年十二月三十日（西暦 1890、日本明治 23 年 1 月 20 日）までの八カ月間の部分である。

## 【凡例】

本稿は上海図書館歴史文献センターに所蔵されている孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』第二十八、二十九巻の翻刻である。翻刻に当たり原文の明らかな誤字は（ ）に入れて、その後に〔 〕で正しい文字を入れ、脱字は〔 〕中で補い、衍字は〈 〉で記した。原文の空格の箇所は□□で示した。なお、孫点は古字をよく使用し、日記中の異体字も多いが、翻刻の際には通用の漢字に統一した。中国語読者にも利用しやすいように、文字・句読点は基本的に旧漢字と中国式の標点符号を用いることにした。

**Rights were not granted to include this image in electronic media.  
Please refer to the printed journal.**